

放課後等デイサービスガイドライン自己評価表

回答率

事業所職員： 4名回答、回答率 100%
保護者様： 16名回答、回答率 84.2%

職員の意見

○環境・体制整備

・集団療育等は自習スペースだけでなく、相談室等も利用して生徒数に合わせて対応している。
・送迎については、日によって複数の学校のお迎え時間が重なることもあるため、近隣教室とも協力して送迎調整を行っている。

○業務改善

・職員全員が研修に参加し、支援方法について検討する機会を設ける。祝日や長期休暇中等、支援開始前に時間を設けるのが難しい時は、前日支援終了後に翌日の支援についてミーティングをするなどの工夫をしていく必要がある。

○適切な支援の提供

・半年ごとに個別支援計画更新の面談を行い、保護者の意向を確認し、ブラッシュアップを図っている。月間の療育活動内容の提案・活動の立案等が、特定の職員に偏りやすい所もあるが、常勤全体で考えられる様、振り分けを行うことで、全員が適切な支援ができるように工夫している。

○関係機関や保護者との連携

・相談事業所開催の会議や児童発達支援事業所・放課後等デイサービス事業所連絡会等には児童発達支援管理責任者が参加している。悩みがある保護者には日々の連絡帳や送迎時の会話等時間を設け話を伺う機会をもったり家族支援でお話を伺ったりしている。

○保護者への説明責任等

・サービス提供記録や送迎時の会話で生徒の情報共有は行っているが、保護者会の開催が少なく参加していただけたご家庭も多くはないため細やかな説明が足りていないと感じるため、メール・電話・送迎時の対面など各ご家庭に合わせて検討をしていく。

○非常時等の対応

・毎月、実施曜日を変えて避難訓練を行うことですべての生徒が1年間を通して1回以上参加できるように工夫をしている。年度替わりには、食物アレルギーに関して変更がないか保護者に確認してアレルギーの対策を行っている。虐待防止の為、定期的に行われる研修に全職員が参加しており教室室内でも研修の機会を設けている。

保護者様の意見

○環境・体制整備

・概ね体制や環境にご満足頂けている結果となったが、教室内の活動スペースに対し「どちらとも言えない」といった意見やトイレの個数に関して「複数あるとよい」といった意見を頂いた。トイレについては増やすことは難しいが、トイレが混みすぎないように誘導方法などを検討していきたい。

○適切な支援の提供

・「外での活動や、調理など色々な活動が増えていると感じる」といった活動内容への変化がみられる意見があった。「生徒の特性にあった支援がなされているか」という項目では「どちらとも言えない」という意見もいただいた為、自教室の生徒に合わせた活動内容について検討していきたい。また、地域資との交流についても、検討を引き続き進めていきたい。

○保護者への説明等

・「放課後等デイサービス計画・作成」について「こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された計画」になっていることに同意する意見が多く、「丁寧な説明が行われている」とのご意見を頂いた。「放課後児童クラブや児童館との交流」や「家族支援プログラム」については「希望しない」との意見や、「わからない・どちらとも言えない」との声があった。個別支援計画等に関しては、周知が広がったが伝わり切っていないものもあるので、アンケートを参考に周知を進めていきたい。

○非常時等の対応

・「緊急時マニュアル」「事故防止マニュアル」等の策定・周知においては「わからない」とのご意見もあったが、毎月行っている「防災訓練・避難訓練」について「サービス提供記録での記載で理解している」と9割のご回答をいただいた。マニュアルに関しての周知もお知らせなどで行っていきたい。

○満足度

・生徒自身の通所に対しての楽しみにおいては「わからない」とのご回答もいただいたものの「安心できる教室であるか」の項目では回答いただいたすべてのご家庭様から「安心できる」とのご回答を頂いた為、個々に合わせた療育できるようご家庭・生徒からの意見も取り入れる機会を設けていく。

昨年度の振り返り

○今年度の取り組む具体策

- ・生徒の状況を職員・保護者間で共有し、必要に応じて支援会議を提案したり保護者との面談を行い、家族支援を行う。
- ・ブログの更新を月に1回以上は行い、更新した際にはその旨をご案内し教室での様子を見ていただけるようにする。
- ・より多くの方に保護者会等に参加していただけるように年に2回は保護者会等を実施し保護者同士のつながりを作る機会を増やしたり、教室での生徒の様子を知ることができるようにする。
- ・長期休みや祝日開室を利用して、公共の施設や交通手段を使用した活動を実施していく。
- ・卒業後の進路について聞き取りを行う。

○改善できた点・まだ残る課題

- ・保護者の方とは、都度情報共有・面談は行っていたものの学校や別の事業所も含めての支援会議等は難しかった為、お困りごとの必要性に応じ支援会議などを行っていく。
- ・ブログの運営が月に1度も行われていない月もあった為、業務の一環として生徒たちの活動の様子を保護者へ伝えられるよう運営していく。
- ・長期休み等を利用して他の区にある施設へ出かける企画を行えた。また、公共交通機関を使用する練習を増やしていけるよう、職員体制を含め検討を行う。
- ・進路については聞き取りを行うことが出来た。

アンケート結果からみる教室の強み・改善点

○教室の強み

- ・勤務しているスタッフが満遍なく生徒・ご家庭とかかわりを持つことで安心感が得られる教室になっている。
- ・ご家庭からだけでなく教室側から生徒の様子についてもお話しさせていただくことで、生徒を理解し、生徒と保護者のニーズや課題が客観的に分析された個別支援計画の作成が行えている。
- ・すべてのご家庭に共感的支援が行え、意思疎通や情報伝達の為の配慮がなされている。

○改善点

- ・地域との交流が少ないため、長期休み等地域のイベントへの参加を行えるようにしていく。
- ・保護者会など保護者同士のつながりを作る提供の場や、利用できる支援の提案などを行える機会を設け保護者会の定期開催を行う。また、生徒の成長が見える機会である療育参観を開催することで日々の支援の成果をお見せできる機会を作る。
- ・マニュアル類など保護者に周知が行き届いていない部分もあるため、定期的に情報を発信することですべての保護者と連携がとれるように発信を行う。
- ・関係機関との連携などは、改善の余地がある。
- ・ブログを定期的に発信できる仕組み作りが必要。

中長期的な改善計画・1年間で取り組む具体策

○中長期的な改善計画

- ・長期休み等で参加できる地域のイベントを調べて参加する。
- ・年度の初めに保護者会を行う月を決めておくことで定期開催ができるよう準備を整える。また、より多くご参加いただけるようアンケートをとり、定期開催に参加いただけるよう開催のお知らせの作成などをスケジュールを立てて進めていく。
- ・マニュアルについて、どのようなものがあるかをお手紙等で配信をする。
- ・関係機関との連携が少ないため、支援方法などを一緒に考えられるよう、希望の高い保護者に確認をとりながら各機関に連絡を行い、連携できる形作りを行う。
- ・ブログ作成とチェックをスケジュールにいれ、定期的に作成する。

○1年間で取り組む具体策

- ・4月に勤務職員が揃っている場で会議の機会を設け、保護者会・療育参観の開催月・担当等を決める。
- ・ブログは、月に1度は更新できるよう更新日をあらかじめ毎月決定する。また、ブログについて保護者にお知らせをし、教室での様子を見ていただけるようにする。
- ・長期休み・祝日などに開催される地域のイベントの情報収集を行い、イベントへの参加を行う。
- ・マニュアルの内容などを保護者会・お手紙等で配信を行う。

スマートキッズ